

お取引様各位

令和3年4月27日

写) 社内関係者各位

株式会社ルミナス
代表取締役社長 江口 洋



米国向けコンテナの遅配に伴う航空便発生について (依頼)

すでにご承知かと存じますが、昨年より米国向けコンテナがひっ迫しており、3月4月はスペースの確保も難しいうえに、新型コロナによる港湾作業員の稼働率低下、2月の米国南部大寒波による鉄道をはじめとするライフラインのストップなどにより、コンテナが西海岸に滞留する事態となりました。現在も約25隻のコンテナ船が沖待ちの状態です。

このような状況ではありますが、各自動車メーカーは若干の生産調整はするものの、基本的には計画通りの生産を行っていますので、いつ部品が切れてもおかしくない状況になっています。当社グループは客先ライン切れを避けるために、ご存じのように航空便を使った緊急納入を行ってきました。

ところで、今回の航空便は量、回数ともに当社がかつて経験したことのないような状況でした。それだけ北米のビジネスが拡大したとも言えますがこれも皆様のご支援ご協力があったことと、感謝しております一方、今回の航空便の費用に関しては1億円を上回るのではないかと懸念しております。極力、弊社で対応は致しますが、幾分かのご協力、ご支援をお願いすることになるかもしれません。その時は事前にご連絡を入れますので、下記内容をご検討頂きたく宜しくお願いいたします。

(記)

- ① 2021年1月から6月末まで緊急航空便の費用を算出します(6月で締めを行う)
- ② その総額の内60%をTAIKIUSA/LUMINUSグループで負担します。
- ③ 40%を北米向けに納入している関係各社にご協力をお願い致します。
- ④ 負担額は1月から6月までの北米向けの金額の案分計算で決めます。
- ⑤ 配賦額は上限100万とし、10万円以下の場合は、対象とは致しません。
- ⑥ なお、別途海外航空運賃の負担割合を決めているお取引様は対象外です。

上記は現時点での弊社の提案でございます。

6月になりましたら改めて上記内容を具体的な数字にして、ご提案とご報告をしてお取引様各位にご了承いただいたうえで実施いたしたいと存じます。

なお、コンテナ事情については弊社ホームページの「NEWS」欄の「2月のTLG」で、報告しておりますので、ご一読いただければ幸いです。

以上、よろしくお願い申し上げます。